

国土の繁栄と平和をまもろう

本会は自衛隊員の激励及び慰問、退職隊員の就職協力等を行うと共に自衛隊の諸行事に協力し隊員との親睦を図り、防衛思想の普及並びに隊員の健全な育成発展に協力するを目的とする。



第227号

令和6年7月1日

発行所 大阪防衛協会 (〒541-0041) 大阪市中央区北浜3丁目5番19号 淀屋橋ホワイトビル701号 TEL06-6202-8284 E-mail:ek@ace.odn.ne.jp 発行人 井上 之治 編集責任者 姥原 康 印刷所 (株)DNPメディアサポート

令和6年度会員総会終わる (創立60周年記念)

大阪防衛協会は令和6年度会員総会(創立60周年記念)を6月13日、自衛隊から中部方面総監小林陸将、海自呉総監二川海将、第3師団長佐藤陸将外25名、会員約270名の参加を得て大阪のホテルで盛大に実施した。

総会行事の後、記念講演会ではジャーナリスト櫻井よしこ氏の「日本の針路と誇りある国づくり」と題して熱弁を振った。その後4年ぶりの懇親会で盛り上がり、創立60周年を祝った。(2面に令和5年主要成果と令和6年事業計画掲載)

会長挨拶文

本日ここに令和6年度大阪防衛協会会員総会を開催いたしましたところ大変お忙しい中、小林中部方面総監を始め、多数のご来賓ならびに会員の皆様にご出席をいただきまして誠に有り難うございます。厚く御礼申し上げます。

最初に大阪防衛協会の歴史を簡単に申し上げますと、昭和38年1月、北陸地方が大豪雪に見舞われ、交通が途絶し、新潟地方が孤立してしまつた状況が数カ月続きました。自衛隊に対しまして即災害

大阪防衛協会会員総会



櫻井よしこ氏が熱弁 「日本の針路と誇りある国づくり」 「今日の日本は目の前のロシア・中国・北朝鮮についてどのように対処するかという問題に直面して核に対して通常の兵力は戦えないのか。さらに戦う(闘う)とはどういうことか?自衛隊の本来的な在り方を問いつつ、自衛隊の本統合してわが国を守り抜きましょう!」と圧倒的な情報量を駆使して国家の核心に迫る熱き講演会となつた。

大阪防衛協会創立60周年総会表彰. Table listing special members (特別会員) and individual members (個人会員) with their names and affiliations.

総理大臣の耳に入り、丁寧に断りがありました。それでは今後とも自衛隊に対する国民の理解を深めるとともに自衛隊を激励しようという趣旨で昭和39年2月24日、大阪防衛協会が発足したのであります。本年の2月24日です。60年となりました。この間、歴代会長を始め、会員の皆様の熱意と暖かい協力が支えられ、自衛隊に対する激励・支援と防衛思想の普及に努めて参りました。60年の長きにわたり当協会の維持・発展にご尽力いただいた多くの熱心な先人と現在の会員の皆様には心から敬意を表する次第であります。さて皆さまご承知の通り、最近の世界情勢は激変し、わが国は内憂外患の時代を迎えている中、自衛隊の行動に対する期待は高まるばかりでございますが、これに伴って自衛隊の任務はさらに増大多様化し、指揮官はもとより、隊員一人一人に至るまで今まで以上に重大な責任と熟練された能力が要求されることとなります。国民の安全は経済が安定し、バランスのとれた防衛力を整備し、国民が「自分の国は自分達で守ろう」という自衛の精神の存在が不可欠であります。すなわち、この国民の「自分の国は自分たちで守る」という健全な精神と気概を持つことが、大きな抑止力となり、その気概を示す一つの手段が大阪防衛協会の存在であり、その存在意義は益々高くなるものと考えております。そのような意味で防衛協会の活動を通じて自衛の精神を一層国民に根付かせるべく啓蒙活動に力を入れて参りたいと思つています。そのためには、なんと云いましても財政基盤の充実すなわち会員の増強が必要となります。会員の皆様には自衛の精神を周りに人に吹き込むとともに一人でも多く会員になつていただくよう、益々のご支援ご協力を切にお願ひするものであります。陸・海・空自衛隊におかれましては今後ともあらゆる事態に速やかに対処でき、国民から信頼され、かつ尊敬される強い部隊を練成される様心からお願い申し上げます。最後に陸・海・空自衛隊のますますのご活躍を心から祈りし、ご挨拶いたします。令和6年6月13日 大阪防衛協会会長 井上礼之

- List of 32 special members (60年継続の特別会員) including companies like Daiichi Kangaroo, Daiichi Chemical, and various banks.

あなたは誰のために 戦(闘)いますか? 大阪防衛協会創立60周年総会が無事終わった。60年の歴史特別に大阪防衛協会設立の経緯等調べてゆくうちに多くのことを学んだ。その中でも警察予備隊発足から昨年十月までの自衛隊員殉職者は2080人となり今年に入つて四月二十日海上自衛隊の2機のヘリコプターが太平洋上で墜落し8人の隊員が殉職した。全ての自衛官は入隊の際、誓いの宣誓を行い、「...ことに望んで危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め、もって国民の負託にこたえる」ことを誓い、日夜訓練に励んでいる。図らずもこの度の櫻井よしこ氏の講演の中で「自衛官の皆様はもし国家の存亡をかけた戦いに何のために誰のために戦いますか?」言い換えれば「あなたは何のために戦い、誰のために死ぬのか」を考えなければならぬ。他の民主主義国では行政・立法・司法があつて軍隊があり、その国の一番の大事な価値観に忠誠を尽くす形で存在する。それではわが国自衛隊では誰に忠誠を尽くせばよいのだろうか? 最高指揮官である行政の長たる総理大臣のために命をささげることが出来るか? というところではない。それでは誰のためなら、死ぬるかに対しては父母、兄弟、子供そして国民のためなら? そして崇高な国家の権威としての国家の本当の日本の権威としての国家の本当の日本国民の象徴であり、日本国民の統合の権威である皇位というものに対して忠誠でなければならぬ。しかしながら国家の根幹をなす、国家のために戦う者の条項がない憲法はやはりおかしい。と述べている。世界中が気候変動も相まって未曾有の混沌に遭遇している現在、憲法改正は一刻の猶予もない。そして我々国民は一人一人がそれぞれの任務を忠直に全うすることが迫られている。(令和6年7月10日 KE)



### 大阪防衛協会創立60周年 「38豪雪災害派遣」と 大阪防衛協会の設立の 経緯

(その2)

自衛隊支援のための募金は当時の関経連業務部長高橋弥次郎のもとで行われた。高橋は早速、関経連の理事以上の役員会社に募金をお願いした。目標額は5〜600万円位とし、「当時の中部方面総監部の田熊利三郎幕僚長に連絡を取り、関経連として今回の除雪作業に出勤した自衛隊員に対し激励の慰問金を集めているので受け取れるか否かの合意をとって欲しい」と根回しした。田熊幕僚長は方面

総監とも相談し、「喜んで頂戴させて戴く」と返事したという。一方、関経連の常任理事であった工藤友恵30も防衛研修所所長の佐伯喜一に連絡を取った。工藤は「関西の財界が北陸豪雪の除雪作業に活躍した自衛隊員の慰問をする為に募金をしているので、近々防衛庁へ集めたお金を持って行く」と述べたという。それに対して、佐伯は「これは有難いことでは是非進めて戴きたい、ともすれば自衛隊員は日陰者のように見られている、これを契機に自衛隊の認識を新たにして戴くことができれば大変有意義なことだ」と関西財界人の理解

ある行動は全日本人に対する尊い教訓にもなり、正に一服の清涼剤とも言えるもので自衛隊内部の者にとつては実に有難いことだ、全自衛隊員にとつてもどれだけ激励になるかわかりませんが心から感謝を述べたのであった。募金は順調に進み、目標額の倍以上の1,200万円が集まった。その後、阿部孝次郎関経連会長、大原総一郎関経連副会長、工藤友恵関経連常任理事らが志賀防衛庁長官と面会し、集まった1,200万円を慰問金として手渡した。だが、金額が余り大きかったため、志賀防衛庁長官は池田勇人首相に報告し、阿

部らは首相官邸へ行くことになった。事の経緯を聞いた池田は深々と頭を下げ、「関西の財界人に対して心からお礼を申し上げたい、このことは災害に出勤した全隊員に伝達することにしよう。然しこのお金は受け取ることはできない」と述べたのであった。池田が受け取りを辞退した背景には、当時、共産党や社会党などから国防問題に懸念したという事情があった。結局、1,200万円は、若干の金利を付けて元の寄付者に返却されることになった。その後、高橋は

田熊幕僚長と相談を重ねた。高橋は、集まった金額が1,200万円もの大金であったことから、財界と自衛隊が癒着していると誤解されるおそれがあったのではなにかと考えるに至った。さらに、田熊幕僚長も「これが防衛協会や協力会といった自衛隊の応援団体からのものであれば問題はなかったのではなかるか」との考へに至った。そして「これを機会にして、是非大阪にこれに類した団体を作って貰えないか」と高橋に要請した。幸いにも高橋は当時大阪府知事であった左藤義詮と面識があった。左藤義詮とは、1958年6月から59年1

月まで岸内閣で第12代防衛庁長官を務めた後、1959年4月から71年4月まで3期12年にわたり大阪府知事を務めた人物である。この時、左藤はすでに関経連を中心に防衛協会設立の動きがあることを中部方面総監部から聞いていた。そして直接高橋に電話し、「是非大阪に防衛協会を作って貰いたい、自分で出来ることはなんでも協力するから遠慮なく言っその後の具体的な設立準備は、工藤関経連常任理事の指導のもと行われた。高橋が理事の人選について工藤に相談を求めた際、工藤から「協会の理事は老人より若手現役社長ばかりを集めて、生のい

い元気の役員にするように」との指示を受けたという。これを受けて、高橋は若い人たちの名を連ねることにした。その後、大阪市内各社への理事の依頼は全て終わり、残すは門真にある松下電器一社のみとなっていた。当時、松下電器は松下正治が社長を務めていた。そのため、理事には若い現役社長として松下正治が候補に挙がっていた。しかし同時に会長を誰にするかという問題がまだ残っていた。中には、初代会長は阿部関経連会長の兼任でもよいのではなにか、という案もあったが、阿部は忙しかったため断ったという。(以下次号)

### 連載エッセイ

### 夕暮れの街 その105

新渡戸稲造・武士道 93



M&U スクール学長 梅谷 忠洋 (フルート奏者・「おもしで酒」作曲家)

高度な教育、極度に発達したAI (Artificial Intelligence 人工知能)、テレビすら見なくなった若者達、家に居ながら銀行との取引が簡単に

Fake NEWS (ニセ情報) やデマ (卑語流言) は、以前にも増して数多く報告されており、世の中はAIの発達によって便利になり、素晴らしい世の中が到来するかと、私は思っておりましたが、意に反してコンピュータ上では

そんな観点から周囲の人達を観察すると、人を愛でる行為よりも貶める言動は苦もなく実行に移しています。このような観点ばかり目にしてゆくと、私自身、中国の思想家・荀子の「性悪説」の虜になっ

てしまっている。なぜ悪いことは蔓延しやすいのでしょうか？ 諺にも「他人の不幸は蜜の味」とあるように、人々はFake NEWSや流言(デマ)に惹かれるのでしょうか。卑語・流言(デマ)の特徴や性質を研究したアメリカの心理学者G・W・オルポート博士は次のような方程式で表

しました。「R(デマの流布量) = I(重要性) × A(曖昧さ)」この式によると、デマがどれくらいまで広く流布するかという「流布量」は、自分が

受け取った情報が、「その人にとつてどれくらい重要であるか」と、「その情報に関する根拠や証拠がどれくらい曖昧であるか」の積によって導き出されるのです。つまり、自分にとつて興味や関心の度合いが高く、且つ、より不確実な内容であればあるほどデマは広がりやすくなるという

ことを表しているのです。これに私の考えを一つ加えますと、我々人間は「自分が正しい」という「御身大切さ」が、さも事実・真実であるかのように流布する癖がそれに拍車を掛け、その根底には我々人間が他者と競争するとき、「勝とう、勝とう！」とする「闘争心」が潜在意識に備わっており、それが極めて自然に顔を出すように感じます。このういう人間を私は「かとう(下等)動物」と呼んでいます。もう一人、日系アメリカ人の社会学者で社会心理学者であるタモツ・シブタニ氏は、流言を「情報の真偽がハッキリとせず、それを確認するための情報も不足した曖昧な状況に巻き込まれた人間が、自分達の知識を

私は最近「ゴジラ1.0」を見てきました。この映画は山崎貴監督作品で、彼はこれまでにも「永遠の0」や「アルキメデスの大戦」など我が国で日本人の国民性を繊細に表現した多くの大ヒット映画を世に輩出している人物です。こんな素晴らしい作品の内実は、ほとんどAIで作られているのです。

なぜFake NEWS やデマは広まるのか 目覚ましいAIの発達ですが、それに伴って世の中は、

だれでも「騙されたくない」という警戒心を持つています。この本能から来る警戒心を乱される要因として、我々の心には「同情心」があります。年寄りや子供には、我々は警戒心を解きます。また、「制服や肩書、容姿」なども同様です。そして、初対面の人でも「私はあなたのお爺さんと同じ合いです」などと家族や共通の知人の名前を出されると警戒心は弛みます。従って「関係性や縁故」で迫ってくる輩も要注意です。

このように嘘と本当の境目は曖昧です。自分の行動や思考を、もう一人の自分観察し管理することを習慣化して、常に一呼吸置く訓練を身につけることをお薦めします。つまり、「自観法」を修得するのです。便利な世になるほどFAKEが多くなるのは「大宇宙の摂理」です。今後も、お互いに用心しながら誠実な社会を作つてゆく側に回る覚悟から始めれば、意外と簡単に「嘘」を見抜く眼力を持つことが出来るでしょう。

「R(デマの流布量) = I(重要性) × A(曖昧さ)」

総会風景



熱心に聴講する会員の皆様



佐藤第3師団長の乾杯で懇親会



講演する櫻井よしこ氏



櫻井先生を囲む女性会員



懇親会で挨拶する大坪副会長



青年部による万歳三唱で祝う

女心の防衛論 インバウンド雑感



大阪府立大学名誉教授 堀江 珠喜

「日本では、クリスマスにケンタッキーフライドチキンを食べるのが伝統です！」もし日本文化紹介で、こう語られたら皆様はどう思われるだろうか？

GW後半から10日間、クイーンエリザベス号の東京湾発着クルーズに参加。客室のテレビには、船内作成の外人客向け日本語紹介チャンネル(英語)がある。誰が原稿を書いたのか不明だが、冒頭のアホな説明があったのだ。明瞭な英語で、同じ番組が繰り返されたので私の聞き間違いではない。その証拠にカクテルパーティーで親しくなった豪人夫妻から、「KFCの件は本当か？」と尋ねられ、もちろん否定した。

GW前後エリザベスは複数回の日本周遊クルーズを行い、約7割が日本人客なので日本人スタッフが

他の外人観光客たちは、チップな内容の体験で大喜びしていたらしい。しかし高額料金設定でも「さすが！」と感動しても、高レベルのサービスとエンターテインメントを求めている。京都なら、富裕層向けになんとかなるはず。その夜は、3人でホテルのフレンチへ。パリの老舗レストランの支店だ。「こんなゴージャスでサービスの良い店は、アメリカにはない！ヨーロッパでも減っている」と、彼は満足そうに支払った。パリ本店がカジュアルに改装し、東京店のほうが昔のエレガンスを保っているらしい。「日本には、また来たい！」と上機嫌の彼女。

新入会員

- 令和6年4月〜6月 ( )は推薦者名
▽特別会員 (2社)
☆中央エングニアリング(株)
若山陽子(大西孝子)
☆ランフィールド
栗原令(倉智英吉)
▽賛助会員 (6名)
大畑加奈子(大西孝子)
渡邊建三(東昌伸)
波原恵美子(普通会員から)
阪本稜雄(木村彩)
山田由美子(横野敏彦)
勸米良遊学(寺岡多佳)
▽普通会員 (9名)
勇元博晶(関西師友協会)
若林博子(藤井千里)
加藤智久(加藤浩輔)
奥野ますみ(蛭原恵美子)
蜂谷公夫(堀下秀一)
戸田勝秀(戸田舜子)
中村徹(大西孝子)
西王子俊介、阪本恒子(以上木村彩)

行事メモ

- (令和6年7月〜10月)
○たそがれコンサート (大阪城音楽堂)
・第3師団音楽隊 7月10日(水)
・海自舞鶴音楽隊 7月17日(水)
・空自中部音楽隊 7月24日(水)
・陸自中部音楽隊 7月30日(火)
▽夏祭り関連
・伊丹・川西駐屯地 7月23日(火)
・姫路駐屯地 7月27日(土)
・奈良基地納涼祭 7月27日(土)
・桂駐屯地 8月1日(木)
・和歌山(サマフェス) 8月4日(日)
・千僧駐屯地 8月6日(火)
・大久保駐屯地 8月6日(火)
・福知山駐屯地 8月7日(水)
・青野原駐屯地 8月8日(木)
・大津駐屯地 8月8日(木)
・信太山駐屯地 8月8日(木)
・八尾駐屯地 8月8日(木)
○大阪地方協力本部創立69周年記念行事 9月7日(土)
○今津駐屯地創立72周年記念行事 9月21日(土)
○宇治駐屯地創立73周年記念行事 9月21日(土)
○中部方面隊創立64周年記念行事(伊丹) 10月6日(日)
○共通▽陸自▽海自☆空自

会員増勢運動について

大阪防衛協会は、昭和三十八年(1963)一月、北陸地方一帯を襲った豪雪に際し、自衛隊が活動した関西経済連合会を中心とする多くの財界人によって昭和三十九年二月松下山幸之助氏を初代会長として創設され、平成二十六年に五十周年を迎えました。協会は創設以来、PKO・災害派遣隊員の激励慰問、入院患者見舞い、殉職隊員家族弔慰、募集協力等の支援活動を行う他、機関紙の発行、講演会・フォーラムの開催、音楽隊演奏会の支援、演習等視察見学、体験飛行、航海、青年部による防衛防災フェスティバルや婚活活動等を行ってまいりました。さらにロシアのウクライナ侵攻により世界の安全保障情勢が激変している中、令和4年12月「安全保障3文書」が公表されました。自衛隊は今後ますます厳しい「国を守る気概」示そう！

図書紹介

「自衛隊と財界人の戦後史」(ミネルヴァ書房) 中原雅人著
助、その一人、安保の議論が、自衛隊が日陰者扱いされ、支援団体を莫大に集大成した貴重な1冊(290ページ)お問い合わせは事務局まで

事務局だより

暑中お見舞い申し上げます
令和6年度会員総会は6月13日、講師に櫻井よしこ氏の講演もあって、約300名を超える参加により、盛大に開催することが出来ました。又新たな出発点としてさらに充実発展を期したいと思います。会員の皆様にはますますご支援ご協力をお願い致します。
○大阪防衛協会事務局
TEL FAX 06-6202-8284